

家庭会合報告会：

堀川正幸さん

クラブ運営と委員会活動に対する要望、アドバイスについて大変参考になるご意見を発表させていただきます。

丸山会員一企画、連絡の徹底、予算執行を伴う企画、行事は必ず理事会にかけなければならないので少なくとも2ヶ月位前にスタートしていただかないと間に合わないので担当委員会はその期間だけはちょっと一生懸命になっていただきたい。

山中会員一事業は単年度だけでなく、継続出来ればすばらしい。

一予算立ては単年度ごとであるが、事業は継続でかまわないと聞いています。

梨本会員一例会の席順、又はお客様のお相手について一考していただきたい。もっと外部卓話を多く、内部卓話を少なく。

○一お客様のお相手を親睦委員会のメンバーが交替で担当してはどうかと感じました。

坂本会員一例会欠席と他クラブへのメイクアップは必ず前もって連絡をするようにとのこと。

長谷川恵慈会員一委員会報告は前もって連絡してほしい。

その他次年度の委員会活動の方針等についても沢山ご意見をいただきましたが、これについてはもっと委員会内で検討していただいたうえで7月の委員会活動方針発表の場でおねがいしたいと存じます。貴重なご意見をいただきまして大変有難うございました。

馬場直次郎さん

5月23日、山崎会員宅に、次年度会長、幹事をはじめメンバーが集まり、ファイヤー・サイド・ミーティングが行われました。5月18～19日の2日間、村上市で行われた地区協議会での財団及び米山奨学セミナーについて、例会で発表したものの外に補足的な説明がありました。その他については、食事内容の向上や、又、ロータリー用語が横文字が多く覚えるのが難しい等の話があり、他に特別これという話もなく、なごやかな中で終了しました。次年度は周年事業も終わったことなので、気楽にロータリーをエンジョイしようということで意見が一致しました。

目黒宣行さん

5月24日（金）柄沢会員宅にて家庭会合が行われました。出席者は次年度会長、幹事以下10名でほとんどが社会奉仕委員会の所属です。3名の会長経験者が出席されておりましたので少し硬い会合になるかなと思っておりましたが、そこはロータリー、終始和やかなムードの会合でした。堀川次年度会長から、「10周年も終わりましたので、少しのんびりとロータリーを楽しみましょう」というお言葉で、更に楽になったような気がします。各会員から、いろいろな意見が出ておりましたが、忘れました。印象に残っておりますのは、山本次年度社会奉仕委員長が地区協でしっかりと勉強されて来られた環境破壊の問題です。環境破壊の現状、そして我々は今何をすべきか。そして、我々は次の世代を担う子供達にそれを伝えていかなければならない。もう1つは、高齢化社会に向

けてのプロバスクラブの存在価値について研究していかなければならないと痛感いたしました。最後に柄沢さんご夫妻には大変お世話になりました。

坂内康男さん

8年5月27日(月) 会員落合益夫さん本社ビル2F会議室にて。家庭会合出席者、会長、幹事他16名集合全員参加ます会長指針後幹事の司会にもとづき各クラブ会員より意見提案された。

- 1、前年度の役員の引継があまり連絡の取り合いをしないで家庭会合に入ったのでとまどいがあった。引継の徹底をしてほしい件
- 2、夜例会が多くなるにつれ又日程の取り方により出席率が悪くならないか考えて見る事
- 3、メーキャップの連絡の取り方、又休会の連絡の取り方等どのようにすれば良いか、又メーキャップが前後14日間という事で連絡を密に取れば出席率の向上を目指す事が出来るのではないか等、又出欠席の連絡をクラブに報告をどのようになっていたのか食事等のむだがあったかなど会の運営等に損失があれば連絡によって考えられるのではないか。

芦田義重さん

家庭会合最後はクラブ奉仕(A)関連のグループで5月28日小林満会員宅で行なわれました。

次年度会長堀川さん、佐藤幹事さん共4回目最後の会合でしたが疲れた様子もみせず、てきぱきと議題を進行し皆さんの活発な意見が出されました。

堀川会長の指針として10周年を終えたので、今年度はのんびりとロータリーライフを楽しみ初心に還り、ロータリーの理念についてもう一度勉強する事と会員の為になる楽しい企画を立ててもらいたいとの要望が出されました。

演 題 “くらしと環境問題”

と き 6月19日(水) 午後7時30分～9時00分

ところ 体育文化センター3階大集会室

☆講師のプロフィール 桃井清至氏 長岡技術科学大学教授

1940年、富山市生まれ。東北大学大学院卒業後、東北大学、岩手大学等を経て、昭和53年より長岡技術科学大学に迎えられ、今日に至る。

環境工学を専門とし、特に水質保全技術の研究に携わるが、最近では、廃棄物の利用技術についても研究を進め、現在、建設省、厚生省、通産省等の外郭団体が進める数多くの調査、研究プロジェクトの委員長、委員を歴任。

また、新潟県等において、環境基本条例、公害防止条例等の策定に参画し、新潟県ごみ減量化推進協議会会長を努め、環境問題の改善に尽力している。

主な著書

◇リサイクルのための化学(共著) ◇水質環境工学(共訳) ◇環境微生物工学研究法(共著)